

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果【宇陀市】

児童生徒の学力・学習状況や生活習慣等の実態を把握するため、国は小学6年生と中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査を実施しています。平成26年度から悉皆調査（全国の小学6年生、中学3年生全員が対象）が行われています。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ります。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てます。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立します。

2 調査について

- (1) 実施日
平成31年4月18日（木）
- (2) 調査対象
宇陀市小学校第6学年（209人） 宇陀市中学校第3学年（205人）
- (3) 調査内容
 - ① 教科に関する内容（国語、算数・数学、英語）
 - ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
 - ② 生活習慣や学校環境に関する質問紙調査
 - ・ 児童生徒に対する調査
 - ・ 学校に対する調査

3 調査結果

公表する資料については、2(3)①「教科に関する内容」②「生活習慣に関する質問紙調査（一部抜粋）」の結果です。

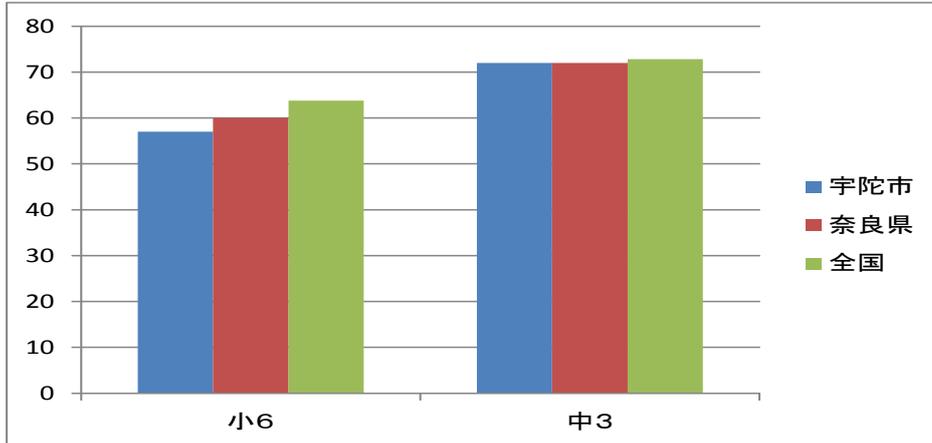
4 調査結果の活用について

- (1) 教育委員会では、宇陀市の調査結果を分析し、課題解決に向けて取り組んでいます。これまで、「学びの創造UDAプラン」の取組として「授業のユニバーサルデザイン化」を推奨し、定着しつつあります。「家庭学習の充実」においても改善に向けて取組が進んでおり、小中連携をする中でさらなる定着を図っています。本年度は、さらに「UDAスタンダード」を中心にして、確かな学力の育成、教職員の指導力の向上等を推進していきます。
- (2) 各学校では、自校の調査結果を分析することにより、それぞれの学校における児童生徒の学力や生活習慣について課題を明らかにするとともに、その克服のために授業改善や生活習慣の見直しに取り組んでいます。
- (3) 子どもたちの可能性を伸ばし、持てる力を十分発揮させるためには、学校・家庭・地域と市教育委員会が協力しながら子どもたちを育てていくことが大切です。生活習慣・規範意識を確立させるためには、子どもたちを励ましたり認めたりすることで、子どもたちは意欲を高め、家庭学習の習慣等を身に付けていきます。ご家庭での積極的な声かけをお願いします。また、朝食は一日の活動のエネルギーになります。しっかり朝食を摂っている子どもたちほど学力・運動能力が高いというデータも出ています。毎日、しっかり朝食を摂らせてください。

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果(国語)

国語

平均正答率	小6	中3
宇陀市	57	72
奈良県	60	72
全国	63.8	72.8

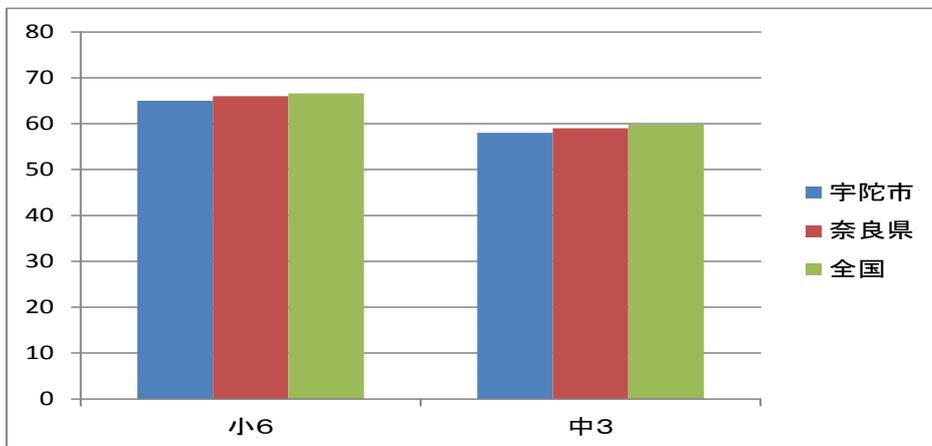


- 小学校国語は、全国平均を大きく下まわっている。
- 中学校国語は、全国平均とほぼ同じ。

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果(算数・数学)

算数・数学

平均正答率	小6	中3
宇陀市	65	58
奈良県	66	59
全国	66.6	59.8

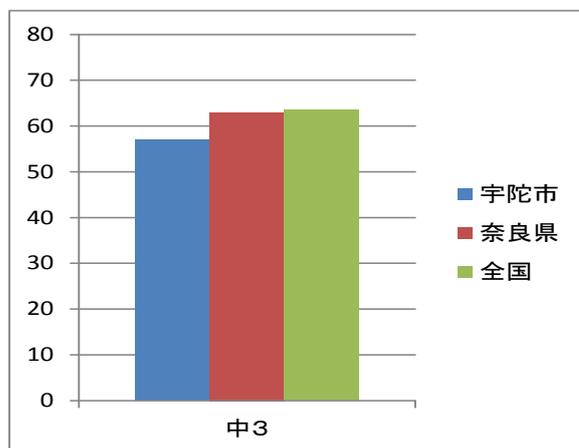


- 小学校算数は、全国平均をやや下まわっている。
- 中学校数学は、全国平均をやや下まわっている。

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果(英語)

英語

平均正答率	中3
宇陀市	57
奈良県	63
全国	63.5

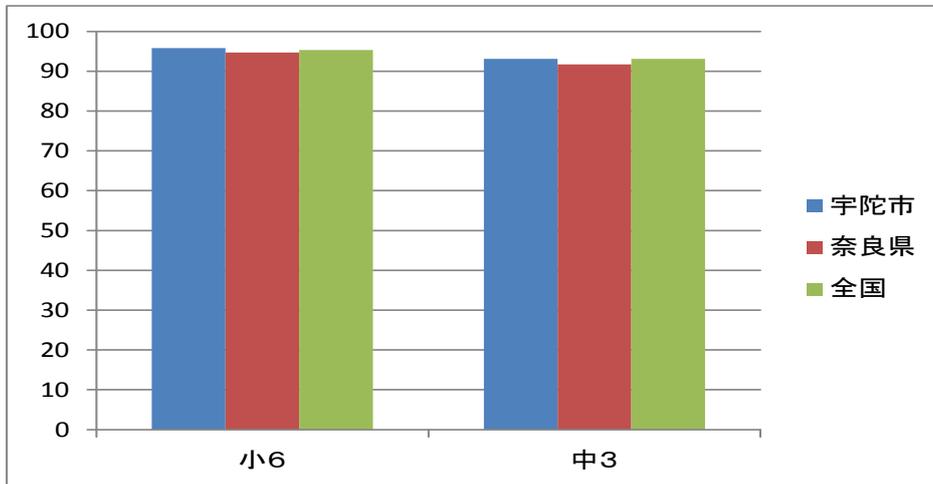


○中学校英語は、全国平均を大きく下まわっている。

朝食を毎日食べている。

(肯定的回答)

平均正答率	小6	中3
宇陀市	95.8	93.1
奈良県	94.7	91.7
全国	95.3	93.1



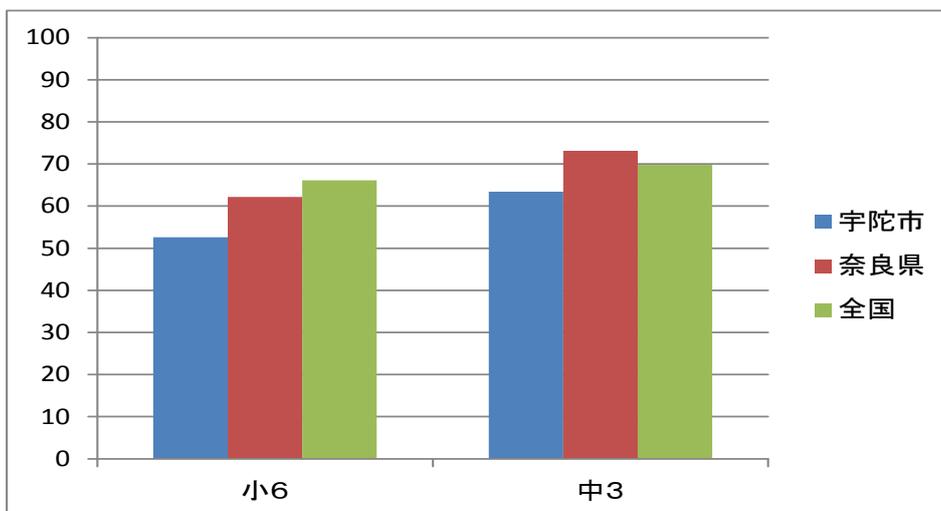
○小学校では、全国平均とほぼ同じ。

○中学校では、全国平均と同じ。

家で勉強を1時間以上している。(塾を含む)

(肯定的回答)

平均正答率	小6	中3
宇陀市	52.6	63.4
奈良県	62.2	73.1
全国	66.1	69.8



○小学校では、全国平均を大きく下まわっている。

○中学校では、全国平均を大きく下まわっている。